

## 「どれみたい?なにききたい?」

音楽や演劇、ダンス、美術など多様なジャンルのプログラムを行うアートのお祭り、Toyooka Art Season を今年も開催します。おんぶの祭典をはじめ、素敵なアートとの出会いをここ豊岡でお楽しみください。

Toyooka  
Art  
Season  
2021

会期：6/1(火) - 9/30(木)

参加事業

Toyooka Art Season 2021 の詳細はこちらから → <https://toyooka-artseason.jp>

◆各プログラムのボランティアスタッフも募集中!◆

お問い合わせ

おんぶの祭典実行委員会事務局  
[onpunosaiten.toyooka@gmail.com](mailto:onpunosaiten.toyooka@gmail.com)

主催/子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会  
豊岡市・豊岡市教育委員会

助成：令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業 助成事業

Toyooka  
Art  
Season  
2021

参加事業



文化庁

新型コロナウイルス感染症対策



詳細と  
最新情報は  
コチラ



HP



facebook



Twitter



instagram

世界から豊岡に  
本物の響きと感動を  
子どもたちへ



子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭

第7回

# おんぶの祭典

2021年6月1日(火) → 6日(日)

・プログラム・



2019.  
子どもたちのための  
コンサート

子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じ、  
豊岡にいながらにして世界とつながることができる、  
そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てたい。  
もちろん、大人も一緒に楽しめるクラシック音楽があふれる  
まちづくりを目指して、この音楽祭を開催しています。

## ごあいさつ



子どもたちが豊岡で  
世界と出会う音楽祭

実行委員長  
岡本 慎二

第7回「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（おんぶの祭典）」が始まります。新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となりますが、感染症対策をしっかり行い、安全に安心してクラシック音楽を楽しんでいただける「おんぶの祭典」にしたいです。豊岡が音楽の都になる一週間をお楽しみいただければ幸いに存じます。

毎年ご出演いただいていたミューラーさん、ウィリアムズさんは残念ながらご参加いただけませんが、ヴァイオリニスト中澤きみ子さん、音楽監督・ピアニスト碓井俊樹さんをはじめ、素晴らしい演奏家の皆さんにご出演いただき、昨年誕生 250 周年を迎えたベートーヴェンの名曲をご披露いただきます。

街角コンサートからグランドフェスティバルまで、子どもから大人まで必ずご満足いただけるものと思います。

終わりになりますが、今回もたくさんのご寄付をいただいた企業・団体の皆さま、ご支援ご協力いただきます皆様心より厚く御礼申し上げますとともに、毎年開催に際して大変なご尽力をいただいております音楽祭プロデューサーの中澤宗幸様、きみ子様ご夫妻には心より感謝申し上げます。

どうかご家族そろってお出かけいただき、豊岡の初夏の風物詩となりました「おんぶの祭典」を、素敵なクラシック音楽を心ゆくまでお楽しみください。



豊岡市長  
関貫 久仁郎

新緑のまぶしい豊岡のあちこちで、クラシック音楽が聞こえる季節がやってきました。

「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭 おんぶの祭典」も7回目となり、今年は、昨年誕生 250 周年を迎えたベートーヴェンをテーマにした楽しい6日間となります。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止しましたので、2年ぶりのコンサートになります。開催にあたり、ご協力とご支援を賜りました多くの方々に改めて感謝申し上げます。

この『おんぶの祭典』は、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、子どもたちが豊岡にいながらにして世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てることをテーマに、2014年に市民の皆さまの熱い思いで始動しました。

今年度も、国内外で活躍する音楽家を豊岡にお招きし、子どもたちだけでなく、大人も一緒に楽しめるプログラムを準備していただきました。

未就学児も参加できる「子どもたちのためのコンサート」や、ホールコンサートを体験できる「キッズコンサート」は、親子で楽しめる『おんぶの祭典』の定番となりました。手を伸ばせば届く距離で聴く演奏は、子どもたちにとって大変貴重な経験となるでしょう。

豊岡が音楽の都になる1週間、ぜひお楽しみください。



子どもたちが豊岡で  
世界と出会う音楽祭

プロデューサー  
中澤 宗幸

待ちに待った子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぶの祭典」が開催されます。

昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で、第6回まで続けてきたいつもの音楽祭の形では開催できませんでした。毎年楽しみにして下さっていた皆さんにお目にかかれたいのは、私も本当に残念でした。そして今年もまだ、世界各国との行き来は不自由です。でもこんな時こそ、心を明るくしてくれる「音楽」の存在はなくてはならないもので、なんとか皆さんにお届けしたいと知恵を絞っています。

今回は海外からの奏者は迎えられませんが、第1回に来てくれた岡本誠司君や、新しい演奏家も出演してくれます。学校で身近に見て、聴いていただく学校コンサートをはじめ、期間中は市内各地で街角に音楽が流れ、「稽古堂イブニングコンサート」や、最終日の「グランドフェスティバル」など、存分にお楽しみいただきたいと思います。ぜひ音楽でリフレッシュしてください。

## アンサンブル・ウィーン東京

出演スケジュール | 6/4 街角コンサート (豊岡市立図書館)  
6/6 グランドフェスティバル (豊岡市民会館)

国際的に活躍するヴァイオリニストとして、特にモーツァルトの演奏では評価が高い。新潟大学を卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院にて研鑽を積み、2000年に文化庁芸術家海外派遣員としてウィーンに留学。その後国内外のオーケストラと多数共演。CDも数多くリリース。特にモーツァルトの「ソナタ全集」(ピアノ:イェルク・デムス)及び協奏曲全集(フィリップ・アントルモン指揮・ウィーン室内管弦楽団)等が高い評価を受けている。

また、国際コンクールの審査員や、国際音楽祭の講師として数多く招聘されている。尚美学園大学、同大学院客員教授、上野学園大学客員教授を歴任。震災後、ライフワークとして TSUNAMIヴァイオリンの演奏にも熱心に取り組む。毎月第1、第3金曜日、夜8時からFM軽井沢で「WE LOVE VIOLIN!」を放送中。使用楽器:ストラディヴァリウス「ダ・ヴィンチ」(宗次コレクションより貸与) オフィシャルサイト: <https://www.kimiko-vn.net>



中澤 しみ子  
Kimiko Nakazawa  
(ヴァイオリン)

1994年生まれ。2017年に東京藝術大学を卒業後、ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学の修士課程を修了。現在はクロンベルク・アカデミーに在籍している。第19回J.S.バッハ国際コンクールのヴァイオリン部門にてアジア人で初めて優勝。2016年のヴェニエツァスキ国際コンクール第2位、2019年のエリザベート王妃国際コンクールでのファイナリスト入賞など入賞歴多数。ドイツを拠点に、日本およびヨーロッパでソロや室内楽など精力的な演奏活動を行っている。これまでに読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、MDRライプツィヒ放送交響楽団など、国内外のオーケストラとの共演を重ねている。NPO法人イエロー・エンジェルよりヴァイオリンの貸与を受け、(株)日本ヴァイオリンより名器貸与特別助成を受けている。 <https://seijiokamoto.net/>



岡本 誠司  
Seiji Okamoto  
(ヴァイオリン)

群馬県高崎市出身。尚美学園大学卒業。ラフォルジュルネ金沢をはじめ、全国の多数の音楽祭に出演。2017年、2018年にはアルジェリア共和国で行われた国際交響楽フェスティバル、また同国日本大使館邸で催されたコンサートでも好評を博す。作編曲や自身主催のカルテットでの活動、ジャズやロック、即興音楽など幅広い分野で活動している。アンサンブル・ウィーン東京メンバー。2019年より静岡交響楽団ヴァイオリン奏者。これまでに、ヴァイオリン、ヴィオラをエルンスト・レスター、中澤しみ子に師事。



坂口 昂平  
Kohhei Sakaguchi  
(ヴァイオリン)

3歳よりヴァイオリン、13歳よりチェロを始める。東京藝術大学、及び同大学院修士課程修了。在学中に渡欧し、リヨン地方音楽院上級課程、ルガーノ音楽院上級課程、及びジュネーヴ高等音楽院修士課程修了。横浜国際コンクール、A. グラズノフ国際コンクール、クレドール国際コンクール、パドヴァ国際コンクールなど、国内外のコンクールで優勝、入賞。ソリストとして名古屋フィルハーモニー交響楽団、エルサレム・カメラータ(イスラエル)、アカデミア・アドリアティカ(イタリア)等と共演。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団次席チェロ奏者。ソリスト、室内楽奏者としても日本及びヨーロッパで活動を続ける。



佐藤 有沙  
Aisa Sato  
(チェロ)

おんぶの祭典  
初出演

## 演奏者プロフィール

## Profile

東京藝術大学附属高校、東京藝術大学を経て、ザルツブルク・モーツァルテウム芸術大学で研鑽を積み、岩崎淑、植田克己、カール・ハインツ・ケマリング、アヴォ・クムジャンの各氏に師事。ヴィオッティ国際音楽コンクール(イタリア・ヴァルセリア)、オランダ・ミュージックセッション入賞、カントゥ国際音楽コンクール(イタリア)にて優勝。オランダ・ミュージック・セッションでは最も優れた現代曲の演奏者に贈られるドネムス演奏賞を受賞。またウィーン現代前衛芸術団体“TAMAMU”より現代芸術特別賞を贈られる。フランスの作曲家ヴァンサン・ダンディのピアノ協奏曲日本初演。この他、各国大使館での特別演奏や2001年よりシリア共和国/パレスチナ難民キャンプにて国連の支援を受けてボランティア演奏会も開催している。ウクライナ/キエフ国立フィルハーモニー管弦楽団、ベネズエラ/シモンボリバルユースオーケストラ、東京フィルハーモニー管弦楽団をはじめ多くのオーケストラと共演、リサイタルや音楽祭を通じて世界的な巨匠とも数多く共演している。2003年よりウィーンにも居を構えヨーロッパを中心に演奏活動も行う。各国で開催される国際音楽祭への出演、国際音楽コンクールの審査員を務める。これまでに演奏活動をした国は40カ国以上にのぼる。2018年福島国際音楽祭にてスカララッティソナタ100曲を1日で演奏する。ジョージア共和国の作曲家バーシャアザラシヴィリ氏より作曲者自身の著作権管理を全権委任されている。「音楽を通じた日本とアルジェリアとの相互理解の促進」について平成29年度外務大臣表彰を受ける。ジョージア共和国シグナギ市名誉市民の称号を得る。第3回種田山頭火賞受賞。兵庫県豊岡市“おんぶの祭典”音楽監督、(一社)長野芸術文化振興協会音楽監督、(一社)横浜シンフォニエッタ代表理事/ゼネラルマネージャー、日本香港音楽協会理事長(香港)、上野学園大学客員教授。



## おんぶの祭典 音楽監督

碓井 俊樹 (ピアノ)

Toshiki Usui

待望の“おんぶの祭典”今年も開催できることとなり、ご尽力いただいた豊岡市の全ての皆様に感謝申し上げます。

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭“おんぶの祭典”は、いまや日本でも注目度が大変高い音楽祭となりました。またこのコロナ渦の中、感染対策を厳格化して開催できる音楽祭としても、注目度を上げており特筆すべきことです。いまや世界と繋がることは、子どもたちにとって必然となってしまいました。パソコンやスマートフォンからは、世界の全ての人とコンテンツにはほぼアクセスすることができます。TOKYO、OSAKAは世界でも通じる日本の固有名詞です。素晴らしい子どもたちのために音楽を届けている国際音楽祭“おんぶの祭典”によりTOYOOKAも益々知名度が上がることに喜びを隠せません。開催期間中、感染症対策に万全を期すため、聴衆の方々にはご不便をかけてしまうこともありますが、御協力賜りたくお願い申し上げます。それでは、素敵な空間をお楽しみください。

おんぶの祭典

## シュバシコウ・カルテット (弦楽四重奏)



2016年のおんぶの祭典第3回から出演。普段はそれぞれの場所で活躍しながら、豊岡では息のあった質の高い演奏を聴かせてくれています。特に小さな子どもたちのためのコンサートや学校でのパフォーマンスは人気です。

### 出演スケジュール

- 6/2 街角コンサート (いすし古代学習館)
- 6/3 街角コンサート (竹野・興長寺)
- 6/5 街角コンサート (城崎・木屋町小路)
- 6/6 グランドフェスティバル (豊岡市民会館)



須山 暢大  
Nobuhiro Suyama  
(ヴァイオリン)

都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。第1回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第2位。NPO 法人イエローエンジェルより2年間1831年G・F・プレッセンダ製作(E・X・シュルツ)を貸与される。シオン・ヴァレ国際ヴァイオリンコンクール入賞。NAGANO 国際音楽祭でのコンクール第1位。ヴァイオリンをグリゴリー・フェイギン、石川静、ジェラルド・プーレ、山口裕之、シュミュエル・アシュケナーズ各氏に師事。ソリストとしてセントラル愛知交響楽団、藝大フィルハーモニア、東京室内管弦楽団、Shlomo・Mintz指揮Orchestre Dohnanyi Budafok、Spirit of Europe等と共演。これまでに、サイトウキネンオーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ、赤穂国際音楽祭プレコンサート、姫路国際音楽祭プレコンサート等多数出演。エビス・クアルテットとしてベートーヴェン弦楽四重奏曲後期作品シリーズを毎年開催。日本各地の主要オーケストラにコンサートマスターとして客演した後、2018年大阪フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに就任。



川 又 明日香  
Asuka Kawamata  
(ヴァイオリン)

3歳から母くみこのもとでヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科、上野学園大学音楽学部を経て、ジュネーヴ州立高等音楽院修士課程ソリストコースをMaggy Breittmayer賞を得て修了。第2回仙台国際音楽コンクール審査委員特別賞。第37回茨城県新人賞受賞。2010年ソロアルバム「i」をリリース。2013年にルーマニア国立ブラショフ・フィルのシーズン開幕コンサートにゲストとして出演。2015年春に行われたNader Abassi指揮HEM管弦楽団との共演は全世界に中継された。2019年11月NHK BSプレミアム「クラシック倶楽部 無言館・祈り戦後75年戦没画学生慰霊美術館から」に出演。2021年3月にはNHK水戸放送局主催・朗読コンサート「記憶つなぎ未来へ」、NHK茨城県域放送の同名番組に出演。これまでにヴァイオリンを原田幸一郎、矢部達哉、ミハエラ・マルティンの各氏に師事。現在はフリーの演奏家としてソロや室内楽、都内主要オーケストラのエキストラ奏者、ゲスト首席として客演等幅広く活動している。



七澤 達哉  
Tatsuya Nanasawa  
(ヴァイオリン)

おんぶの祭典  
初出演

第12回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位、神戸市長賞受賞。第2回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第2位受賞。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2015第1位。東京・春・音楽祭やラヴェンナ音楽祭等に出演。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、サイトウキネンフェスティバル、小澤征爾音楽塾、プロジェクトQ、ヴィオラスペース、リゾナーレ室内楽セミナー等に参加。これまでにヴィオラを川本嘉子氏、川崎和憲氏、市坪俊彦氏に師事。2018年より岡山フィルハーモニック管弦楽団の首席ヴィオラ奏者として活動。



加藤 文枝  
Fumie Kato  
(チロ)

京都市出身。同志社高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科チェロ専攻卒業。学内にて、安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。同大学院修士課程修了、アカンサス音楽賞受賞。パリ市立音楽院、満場一致の首席で卒業。第8回ピバホールチェロコンクール第1位。第13回松方ホール音楽賞、併せて特賞受賞。第7回・第8回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。FLAME国際コンクール(パリ)第3位。これまでに、日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団など多数のオーケストラと共演。各地でリサイタルも行う。サントリーホール室内楽アカデミー第1期生。平成23年度京都市芸術文化特別奨励者。2011・2012年度ロームミュージックファンデーション奨学生。財団法人地域創造による公共ホール音楽活性化事業、平成26・27年度登録アーティスト。CHANEL Pygmalion Daysアーティスト。オクタヴィア・レコードよりデビュー・アルバム「Parfum」をリリース。

## コウノトリ博士の プチ 音楽講座



### チューニングって？

オーケストラでは何十人もの演奏者が同時に音を出して、同じハーモニーを美しく奏でないとイケない。でも、それぞれの楽器のちょっとした調整の違いによって音程は変わってしまうんだ。例えば同じ「ラ」の音でも、音の高さには幅があって、オーケストラの中で、ちょっとでも高いラと低いラが同時に鳴ると決して美しいハーモニーにはならない。だからオーケストラのメンバーが舞台上の上にそろろうと、まず「チューニング」(調整)ということをやって、みんなが同じ音程で演奏できるようにするんだよ。オーケストラのリーダー「コンサートマスター」が立ち上がって合図を出すと、オーボエがその日のオーケストラの基準となるラの音を延ばして吹く。コンサートマスターが、オーボエのラと自分のラを合わせると、その後、その音をみんな聴きながらラを揃えて演奏する。問題があれば楽器を調整し、オーケストラ全体の音程の確認をするんだよ。弦楽器の人は、次に、基準のラをもとに、楽器に4~5本張ってある弦一本一本の調整もするよ。全員のチューニングが終わると、また静かになって、指揮者の登場を待つんだ。日本のオーケストラは、ラ(A)=442ヘルツという物理的な単位の高さでやる人が多いかな。

## こうのとりのクインテット (木管五重奏)



第7回大阪国際室内楽コンクール3位受賞の木管五重奏アンサンブル・ミクストのメンバーを中心に音楽祭に第4回から出演。CD「ミクスト・ノート」を2016年にリリースしています。

### 出演スケジュール

- 6/1 街角コンサート (芸術文化観光専門大学)
- 6/3 街角コンサート (江原河畔劇場)
- 6/4 街角コンサート (日本・モンゴル民族博物館)
- 6/5 街角コンサート (コウノトリ但馬空港)
- 6/6 グランドフェスティバル (豊岡市民会館)



嵯峨 郁恵  
(ホルン)  
Kinue Saga

宮城県出身。東京藝術大学音楽学部卒業。これまでに須田一之、松崎裕諸氏に師事。2006年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト VII に参加、2009年同塾オーケストラ・プロジェクト I に参加。2010年サイトウ・キネン・フェスティバル「青少年のためのオペラ」に参加。現在、オーケストラや吹奏楽に客演のほか、吹奏楽コンクールの審査員やアウトリーチなど幅広く活動している。横浜シンフォニエッタシーズンメンバー、木管五重奏団アンサンブル・ミクストメンバー。



本多 啓佑  
(オーボエ)  
Keisuke Honda

福島県出身。東京藝術大学附属音楽高校、東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。2010年にハンブルク音楽演劇大学大学院に留学、在学中にはロームミュージックファンデーション、ドイツ・ベーレンベルク銀行財団の奨学金を得る。第79、82回日本音楽コンクールオーボエ部門、第7回津山ダブルリードコンクールに入賞。ソリストとして東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団等と共演。また、藝大在学時から木管五重奏団アンサンブル・ミクストのメンバーとして活動し、第7回大阪国際室内楽コンクール管楽部門第3位。これまでにCD「ミクスト・ノート」、「ファンタジー」をリリースした他 NHK-FM リサイタル・ノヴァ等に出演。これまでにオーボエを春山秀城、北島章、小畑善昭、青山聖樹、ペアーテ・アーンデルト、故・小林裕、故・オットー・ヴィンターの諸氏に師事。現在東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席オーボエ奏者、木管五重奏団アンサンブル・ミクストのメンバーの他、洗足学園音楽大学非常勤講師を務める。



梶原 一紘  
(フルート)  
Kazuhiro Kajiwara

大阪出身。幼少の頃よりピアノを、12歳からフルートを始める。東京藝術大学音楽学部附属高校、東京藝術大学を卒業後渡仏。フランス国立クレティユ地方音楽院を満場一致最優秀の成績にて修了後、パリ・エコールノルマル音楽院にて研鑽を積む。マグナムトリオのメンバーとして日本国内はもとより韓国、イギリス、カナダ、ロシアをはじめさまざまな演奏会やフルートフェスティバルに招聘され好評を博す。サントリーサマーフェスティバルにソリストとして出演。NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」「いだてん」や「スーパーマリオオデッセイ」などのレコーディングに参加。マグナムトリオ、spac-e、Futur Noh、各メンバー。これまでに長山慶子、金昌国、萩原貴子、神田寛明、中野富雄、ジョルジュ・アリオル、アラン・メナール、トマ・プレヴォーの各氏に師事。Today's Concert 共同創設者。ドルチェ東京ミュージックアカデミー講師。



石井野乃香  
(ファゴット)  
Nonoka Ishii

1995年生まれ。神奈川県出身。12歳よりファゴットを始める。神奈川県立弥栄高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。第1回日本ファゴットコンクール入賞。これまでにファゴットを岡崎耕治、神山純の各氏に師事。現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の副首席ファゴット奏者を務めている。

おんぶの祭典  
初出演



笹岡航太  
(クラリネット)  
Kota Sasaoka

香川県出身。東京芸術大学音楽学部卒業。同大学別科を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。香川ジュニア音楽コンクールにおいて多数入賞。高松テルサ音楽祭に出演、準グランプリ受賞。第15回日本クラシック音楽コンクール全国大会5位入賞。第6回日本クラリネット協会主催クラリネットアンサンブルコンクール第2位。これまでにクラリネットを山崎盾之、藤井一男、亀井良信、三界秀実、山本正治の各氏に、室内楽を水谷上総、小畑善昭、磯部周平、池田昭子、三界秀実、山本正治の各氏に師事。これまでに客演奏者として藝大フィルハーモニア、千葉交響楽団、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、広島交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティ管弦楽団、日本センチュリー交響楽団の公演に参加。その他ソロ、室内楽や吹奏楽など多岐に渡り活動しているほか、後進への指導にも取り組んでいる。

## コウノトリ博士の 音楽講座

コンサートは沢山の仲間と  
共有する「宝物」の時間

演奏会の素晴らしさは、すべてが「その場」で行われるってところだと思うんだ。今この瞬間を共有するすばらしさ。私は一人じゃない、君も一人じゃない、みんな一緒に今、この音を聴き、この音を生み出すことに関わっている。大きなホールだと、同時に1000人以上の人が、演奏して、聴いて、支えている。しかも演奏される曲は多くの場合、何百年も昔のもの。作曲

家が曲を書いて、今日まできくと何千回、もしかしたら何万回と演奏されて来たと思う。そういう一回一回の積み重ねの最後に今日の演奏会が連なっているんだよ!! 素敵だね。



入行な音楽に身を  
ゆだねよう...



ジュニアソリスト



西浦 梨桜  
Rio Nishiura  
〈ヴァイオリン〉

私は昨年、おんぷの祭典の話聞いて、プロの方と演奏出来る機会があると知りました。こんな経験、滅多に出来ないからと誘われて、参加することに決めました。私自身、プロの方と演奏出来るのは、人生でないと思っていたので夢のようです。2人で合わせられる機会も少なかったので、1回、1回の練習を大事にしてみました。ドッペルコンチェルトは、とってもカッコよくて、演奏する人によって雰囲気が変わります。本番は楽しんで演奏出来るように頑張ります。



多根 希望  
Nozomi Tane  
〈ピアノ〉

昨年は新型コロナウイルスの影響で、発表会やコンクールが中止になってしまい、悔しい思いをたくさんしました。なので、こうしてオーケストラの皆さんと一緒にステージに立って演奏できる事をとてもうれしく思っています。難しい曲ですが、楽しんで、練習した成果を出せるようにがんばります。



谷口 昊真  
Koma Taniguchi  
〈ピアノ〉

僕は、弟との連弾や合唱の伴奏で、誰かと合わせる楽しさから、いつかコンチェルトをやりたいと思っていました。受かると思っていなかったオーディションでソリストに選ばれ嬉しさ100%だった去年。しかしコロナで中止となってしまい諦めていたところ、今年どうですか？と出演オファーを頂きました。プロの方と同じ舞台上に立ちピアノが弾けるなんて最高に嬉しいです。ピアノを弾ける喜びと、僕を支えてくれる方々へ感謝の気持ちを込めて弾きたいです。



稲川 衣織  
Iori Inagawa  
〈ヴァイオリン〉

出演を決めたのは、プロの人達と演奏できて、しかもソリストになれる事は、二度とないと思ったからです。練習は、ほぼ1人だったので1stヴァイオリンと合わせるイメージをしながらの練習が大変でした。あと、バッハがどんな風に曲を作ったのかイメージするのが難しかったです。また、去年コロナで中止になった時はすごく残念だったのですが、今年出演できるとなった時は本当にうれしかったです。プロの人達と一緒に演奏できる事はとてもうれしいです。成功できるように頑張ります。



先生のコメント

田村 晃子 (谷口くんのピアノ講師)

地元で音楽を学んでいる子供たちが、プロのオーケストラと共演することが出来る全国でも希少価値の高い、夢のような企画を実現していただき感謝したいと思います。ソロでは味わうことが出来ないオーケストラの雰囲気や迫力を肌で感じ、一体感を味わうことは、音楽の醍醐味を知る上で絶好のチャンスとなるでしょう！これからは「豊富な経験」が求められる時代。本日の舞台が将来ある子どもたちにとって宝となり、今後の糧となりますよう心より応援したいと思います。

今西 藤美 (西浦さん、稲川さんのヴァイオリン講師)

ドッペルコンチェルトは2人のソリストが息を合わせて演奏するバッハの名曲です。本日演奏する2人は、学業など忙しい中、ひたむきに音楽に取り組んで参りました。暗いニュースが多い昨今、若い世代が頑張る姿は、一筋の希望の光です。どうぞ、温かな拍手をお願いたく存じます。また関係者の皆様にはこのような機会をつくらせていただき、本当にありがとうございました。一日も早く普通の日常生活に戻ることを願いつつ、本日まで参加の皆様のみますますのご活躍とご健康を祈念いたします。

小田 まゆみ (多根さんのピアノ講師)

このような素晴らしい機会に恵まれたこと大変感謝致します。この想いを心と身体で音楽にのせて皆様に届けられますように…。

おんぷの祭典祝祭管弦楽団

2014年第1回“おんぷの祭典”にあわせ、設立されました。国内外のトッププレイヤーが集結し、小編成から大編成まで機動的に対応し豊岡市でしか聴けない音色を持ち合わせたオーケストラです。

アンサンブル・ウィーン東京、シュバシコウ・カルテット、こうのとりのクインテットのメンバーも参加!



上 敷 領 藍子  
Aiko Kamishikiryo  
〈ヴァイオリン〉

おんぷの祭典  
初出演

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を卒業後、同大学音楽学部首席卒業。同大学大学院修士課程修了。オランダ・マーストリヒト音楽院首席卒業。大阪国際音楽コンクール、宗次エンジェルヴァイオリンコンクール、バルレッタ国際音楽コンクール、レオポルド・ベラン国際音楽コンクール等国内外のコンクールにて多数受賞。また、青山音楽財団より新人賞、リゾナーレ音楽祭にてハイドン賞など受賞。これまでにオーケストラアンサンブル金沢、藝大フィルハーモニア管弦楽団、日本センチュリー交響楽団などオーケストラとも多数共演。2012年度野村財団奨学生。これまでに本多智子、田淵洋子、浦川宜也、梶山久美、玉井菜採、ボリス・ベルキン、ジェラルド・プーレの各氏に師事。現在、京都コンサートホール登録アーティスト。2016年に帰国し、国内外にてソロ、室内楽、オーケストラの客演など各分野において幅広く演奏活動をしている。  
公式HP [www.kamishikiryoaiko.com](http://www.kamishikiryoaiko.com)



宮 田 英 恵  
Hanae Miyata  
〈ヴァイオリン〉

おんぷの祭典  
初出演

愛知県出身。名古屋市立菊里高校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部を卒業。同大学大学院修士課程修了。藝大モーニングコンサートにて、尾高忠明指揮藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。大学卒業時にアカンサス音楽賞を受賞し、宮中桃華楽堂にて御前演奏会に出演。これまでに村田関子、林茂子、清水高師、前橋汀子、玉井菜採、オレグ・クリサ、マーク・ゴトーニの各氏に師事。2010年に渡独。ベルリン・ドイツ交響楽団 2010-2011 シーズンアカデミー生として在籍し、佐渡裕指揮日本ツアーなどにも参加。ベルリン芸術大学を最高成績で卒業し2013年に帰国。同年より大阪フィルハーモニー交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。2018年度より横浜シンフォニエッタシーズンメンバー。室内楽において、Berlin Trio、Quartetto RoSSo、ペンタトニカピアノ五重奏団のメンバー。



黒 川 冬 貴  
Fuyuki Kurokawa  
〈コントラバス〉

おんぷの祭典  
初出演

滋賀県に生まれる。県立石山高校音楽科を卒業後、渡独。国立フランクフルト音楽大学にて研鑽を積む。今までに故西出昌弘、西口勝、ギュンター・クラウス各氏に師事する。現在京都市交響楽団首席コントラバス奏者を勤める。

# Program

プログラム

## ファイナル コンサート

2021.6/6 14:00 開演

オーケストラ：おんぶの祭典祝祭管弦楽団  
ソリスト：岡本誠司、碓井俊樹、中澤きみ子  
ジュニアソリスト：稲川衣織、西浦梨桜、多根希望、谷口真真  
コンサートマスター：岡本誠司  
賛助出演：土出真梨子

- 1 ベートーヴェン：ロマンス 第2番 へ長調 Op.50  
Beethoven : Die Violin Romanze Nr.2 F-Dur, Op.50  
(ヴァイオリン：岡本誠司)
- 2 J.S. バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043 より第1楽章  
J.S.Bach : Doppelkonzert für zwei Violinen d-moll BWV1043, 1.Satz  
(ジュニアソリスト：稲川衣織、西浦梨桜)
- 3 J.S. バッハ：ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 BWV1052 より第1楽章  
J.S.Bach : Konzert für Cembalo, Streicher und Continuo Nr.1 d-moll BWV1052, 1.Satz  
(ジュニアソリスト：多根希望、谷口真真)

- 4 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」変ホ長調 Op.73 より第1楽章  
Beethoven : Konzert für Klavier und Orchester Nr.5 Es-Dur Op.73, 1.Satz  
(ピアノ：碓井俊樹)

休憩

- 5 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.61 より第1楽章  
Beethoven : Konzert für Violine und Orchester D-Dur Op. 61, 1.Satz  
(ヴァイオリン：中澤きみ子)
- 6 ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」ハ短調 Op.67  
Beethoven : Sinfonie Nr.5 c-moll Op.67



絵の顔はちょっと怖いけど  
ベートーヴェンって  
こんな人！

ベートーヴェン(1770~1827)といえば、「楽聖※」とも呼ばれ、クラシック音楽、特にドイツのクラシック音楽を代表する作曲家として知られています。このベートーヴェンの絵、もじゃもじゃ頭に真剣な鋭い目、ちょっとこわい人のように描かれていますね。ただ、若い頃はとってもおしゃれで、女の人にもモテた有名なピアニストだったんですよ！

彼の人生に転機が訪れたのは20代の後半でした。なんと音楽家にとっての聴覚を、病気によって失ってしまったのです。彼は絶望し、死のうとも思いました。しかし、そこから希望を捨てずに立ち直り、作曲家として、音の聴こえない世界から、次々と名曲を生み出していったのです。そのころから、彼の音楽は「苦悩を克服して歓喜へ」(苦しさに打ち勝って、よるこびへ)という共通のテーマが見られるようになりました。9曲の交響曲や16曲の弦楽四重奏曲、32曲のピアノ・ソナタなど全てが名作です。彼の音楽のスタイルはその後のほとんどの作曲家に大きな影響を残し、彼のお葬式には3万人の人がきたんだって！！

※楽聖ってなあに？・・・ベートーヴェンのように、素晴らしい音楽家のことだよ！



## 協奏曲と交響曲

オーケストラが演奏する曲の種類を大きく分けると、「オーケストラだけ」で演奏する音楽と、「オーケストラと独奏者(ソリスト、ともいいます)」で演奏するものに分けられます。オーケストラだけで演奏する音楽の代表が「交響曲(シンフォニー)」、そしてオーケストラと独奏者で演奏する音楽の代表が「協奏曲(コンチェルト)」です。

交響曲はだいたい性格の異なる4つの楽章から成り立つことが多くて、それらは続けて演奏されます。交響曲には全楽章を通してなにか作曲者の理念(大切な思いや深い考え、という意味です)を込めて作曲されます。

協奏曲はピアノやヴァイオリンなどの独奏楽器が固有にもつ素敵な音色や、演奏する人のテクニックや音楽性の素晴らしさを華やかに強調したり、オーケストラと独奏楽器の音楽のやり取りを楽しむことを目的に作曲されています。

楽章と楽章の間では、音楽が終わったように思っても拍手をしません。全部の楽章が終わってから、いっぱい拍手で演奏してくれた人たちに感動や感謝を伝えましょうね。

## 曲目紹介

- 4 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」変ホ長調 Op.73 より第1楽章  
「皇帝」というのは、ベートーヴェンが亡くなった後、この曲のあまりにも立派な雰囲気からつけられた、あだ名です。1809年から1810年くらいに完成しました。若い頃は名ピアニストとして有名だったベートーヴェンでしたが、この頃には耳はほとんど聞こえなくなっていたために、初演を自分で弾くことはできませんでした。この曲はベートーヴェンが作曲した最後のピアノ協奏曲です。
- 5 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.61 より第1楽章  
ティンパニが静かにトン、トン、トン、トンと5回連打されて、オーボエが伸びやかに幸せなメロディーを奏で、とても印象的な始まりかたをします。この曲においてヴァイオリンは確かに主役なのですが、ただ目立つだけでなくオーケストラと一緒に音楽を作り上げてゆくスタイルは当時としても斬新でした。
- 6 ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」ハ短調 Op.67  
ジャジャジャーン！はクラシック音楽の中で一番有名なシーンかもしれませんね。このジャジャジャーンと同じくらい有名な「運命」という呼び名はベートーヴェン自身が名付けたわけではありません。この強烈な冒頭4つの音が何を意味するのか…「運命はこのように扉を叩くのだ！」とベートーヴェンが語ったから…とされていましたが、今ではそれは伝説にすぎないと考えられています。この曲が素晴らしいのは、一見単純な「ジャジャジャーン」が姿をさまざまに変えながら、全曲を統一する重要な音の「部品」として組み立てられていく、そのベートーヴェンのアイデア、構造の見事さにつきま。そして第1楽章では悲劇的で闘争的だったこの曲が、さまざまな局面を経て、最後の第4楽章にいたると勝利の大行進になる、この「苦悩を通して歓喜へ」という全体のドラマが人々を感動させるのです。1808年に初演されました。

# コウノトリ博士の 音楽講座

— コウノトリはかせのおんがくこうざ —



みなさん、こんにちは！  
雨が多い季節になってきましたね。元気になっているかな？  
おんぶの祭典の間、豊岡市内各地で家族づれや、赤ちゃんから小学生、中学生、高校生のお友達を対象にしたコンサートがたくさんあります。お父さんお母さんにぜひ、「連れてって〜！」とお願いしてみようよ。有名な楽しい曲を集めていますよ。わたしが、生まれて初めて、生で聴いた演奏会は「こどものためのファミリーコンサート」という名前でした。曲目は「ベートーヴェンの運命」でしたよ。会場は豊岡市民会館でした。赤いじゅうたんやまばゆい照明にドキドキして、自分が少し大人になったんだ！って嬉しかった瞬間でした。

## 演奏会へ行く前に アドバイス！

演奏会っていうのは生の音楽を聴きに行くこと。でも、それだけではないんだ。普段の日常生活の、忙しさや騒がしさから離れて、ちょっと素敵な別の世界でゆったりと時間を過ごすことができる特別な時間なんだ！ホールはきれいで、重厚な雰囲気。そして演奏する人達はドレスとか燕尾服とか、普段では着ることが無い正式な服を着て心を込めて演奏する。ホールの人達も、みんなの過ごす時間が特別で素敵な時間になるように願っています。みんなが心を合わせて、演奏会が特別な、素敵な、おしゃれな、でもリラックスした楽しい時間になるように協力しているんだ。みんなも、ちょっとおしゃれして、演奏会に出かけてみると、きっと新しい魅力に出会えると思うんだ。もちろん、普段着でも全然大丈夫！大切なのは、この時間の全てを楽しもう、という気持ちだよ。

できたら、その日演奏会でやる曲を何回か聴いてから生演奏を聴いたら言うこと無しだね！知らないものを初めて聴く楽しさもあるけれど、知っているものを聴くのはもっと楽しいよ。クラシック音楽では、おなじ曲でも演奏する人によって、少しずつ違う演奏になるんだ。それを自分の知っているスタイルと比べて楽しむ、という聴き方もあるよ。



開演ギリギリにドタバタ駆け込んで、心臓ドキドキ、汗ダラダラしながら演奏会が始まるなんて、ちょっともったいないよ。余裕を持って、落ち着いた気持ちで開演を迎えたいね。演奏会の始まる前の舞台では色々な作業がおこなわれているよ。オーケストラの人が、今日の演奏会の難しいところや、聴きどころ（指の速いところや、一人で演奏する「ソロ」のところ）の直前のおさらいをしていたり、楽器の調子を調べたり、あと裏方さんと呼ばれる演奏会を裏から支える人達が舞台上の椅子や譜面台がきちんと並んでいるかチェックをしたりしています。それを眺めていると、これからどんな曲が演奏されるのか予想できたりして、期待がふくらむよ。



## 注意してね！

携帯電話を持っている人はみんなのなかでは少ないかもしれないけれど、もし持っていたら、絶対に演奏会中は電源をきってね！  
静かなところでもしも鳴りだしちゃったらいへんたいへん！！とにかく音がでるものは、時計も電話も財布の鈴も、全部切ること。演奏の間は、リラックスして静かにね。っあ！大きい荷物がある時は、ロビーにある「クローク」というところに預けることができるよ。

## どう聴こうかな？

さて、時間が来て舞台の袖（面白い日本語だね）から指揮者とソリストが足音を響かせて現れ、拍手がおきる。演奏会の始まりだ！すごい指揮者とソリストだと、その瞬間に会場の空気が一瞬で変わるのわかるんだ。みんなは「カリスマ」って言葉を知っているかな？カリスマ性のある指揮者は、現れるだけで、期待、緊張、集中、興奮、これらが一緒になったような独特の雰囲気を、オーケストラと会場全体にもたすることができるんだ。オーラというのかな。それを感じ取れたら、もう演奏会は成功でしょう。あとはもう、みんな好きに音楽に浸ればいいんだ。目をつぶって、会場全体の響きを聴いてもいいし、自分の好きな楽器や、奏者一人一人を追いかけて聴くのもいい。指揮者とソリストに目は釘付けでもいい（オペラグラスという小さな双眼鏡で奏者や指揮者やソリストのアップを見ることもできるよ）。大事なのは、集中して、リラックスすること。慣れてくると、自分なりの聴き方がきつとわかってくるはずだよ。今日はコロナのために、指揮者はいないけど来年は豊岡にきてくれるといいね！



## 拍手・ブラヴォーって？

演奏が終わって、大興奮、本当に素晴らしい〜、奏者の人にこの感動を伝えたいと思ったら心からの拍手を惜しみなくおこってね。演奏してくれた人が目の前にいる！これはすごいこと。直接、「きれいだった」とか「ありがとう」を伝えることができるなんて、素敵なことだよ。それでも物足りない人は、勇気を出して「ブラヴォー！」と大きく叫んでみよう。これはイタリア語で「素晴らしい!!!」という意味だよ。女性に対しては「ブラーヴァー！」、複数の奏者には「ブラーヴィー！」と呼びかけるのが正式！！でも音楽の世界では全部「ブラヴォー！」で大丈夫！！

※新型コロナウイルス感染症対策のこの時期はめいっばいの拍手を演奏者に届けてね！

北川 森央

東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程修了。  
論文「モーツァルトのウィーン時代におけるフルート使用法」にて博士（音楽）を取得。  
聖徳大学音楽学部准教授、東京藝術大学、上野学園大学非常勤講師。



## ベートーヴェンとその時代

野村三郎執筆

ベートーヴェンは1770年ボンに生まれ、1827年ウィーンで没した。この時期は1789年にフランス革命が起き、イギリスで産業革命が始まり、市民階級が勃興し、その一方で貴族階級は没落しつつあった時期であった。フランス革命は王政を打倒したが、その後革命各派相互の殺し合いとなり、1795年第3軍司令官となったナポレオンが、1799年には第1統領となりフランスの実権を掌握する。このような時代背景の下ベートーヴェンはボンで成長した。祖父はボンの宮廷楽長だったが、父は同じ宮廷楽団に仕えながら、アルコールに溺れていた。小さいころから目覚ましい音楽的才能を見せたベートーヴェンを音楽的に指導したのはネーフェであった。ベートーヴェンは彼の下で大バッハの平均律曲集も学んでいた。当時バッハと言えば息子のC・P・E バッハを意味していたから、この時期ベートーヴェンが既に平均律曲集を学んだという事は、師のネーフェが優れた教師であった事を意味する。

一方ベートーヴェンは友人のヴェーゲラーの紹介でプロイニング家に入り出すようになった。それはこの家の長女エレオノーレにピアノを教えるためであったが、そのお陰でベートーヴェンはこの貴族の家で、母親の未亡人ヘレネから愛情を注いでもらっただけでなく、礼儀作法や多くの書物から教養を身につけることが出来た。同時にボン大学に通いシュナイダー教授の講義を聴き、共和思想を身につける事になったと推測されている。更にプロイニング家を通してウィーンからボンに来たワルトシュタイン伯爵の知遇を得て、ボンの君主であったマクシミリアン・フランツの宮廷で、英国に招かれその途次ボンに立ち寄ったハイドンに紹介される。ベートーヴェンがウィーンに向け出発するにあたり、ワルトシュタイン伯爵は彼にウィーンのリヒノフスキー侯爵宛の紹介状を与えた。彼はベートーヴェンに「ハイドンを通じてモーツァルトの精神を学ぶように」と励ましたと伝えられている。

ベートーヴェンは1787年ウィーンに行ったが、母の死で急遽ボンに帰えらざるを得なかった。彼は1792年再びウィーンに行き、生涯住むことになる。したがってこの時期のベートーヴェンがナポレオンを封建制度からの解放者と信じていたのは無理

もない事であった。後に彼がシラーの「歓喜に寄せる」という詩を彼の第9交響曲に用いたのも、ボンでシラーのこの詩を知ったからに他ならない。シラーの友人フィッシュニッセル教授はシラーの未亡人に「才能ある青年がシラーの詩を全曲作曲しようとしています」と知らせている。したがってベートーヴェンのかの有名な「第九交響曲」で用いたシラーの詩を作曲しようというアイデアは既にボン時代から彼の脳裏にあったのである。ウィーンでベートーヴェンはまずピアノの名手として有名になった。リヒノフスキー侯爵などのバックアップがあり、彼の許には多くの貴族の子弟が弟子入りした。その一方で彼の作品も次第に認められハイドン、モーツァルトに続く古典派の大作作曲家の地位を固めていった。彼はハイドンが道を開いた交響曲を形式上も、内容上も完成したのだった。それはハイドンの交響曲が104曲（実際はもっと多い）ものが、モーツァルトにおいて41曲だった交響曲が、ベートーヴェンでは9曲しか作られなかった事にも表れている。その理由はハイドンにおいてディヴェルティメントのような軽い曲種から発展していったものを、抒情性などの内容においても、更に深く思想性まで持たせた事に現れている。後世の人たちがそれらの曲の与える印象から「英雄」「運命」とか「田園」といった名称を付与したのもそこに理由がある。遂にはベートーヴェン自身がシラーの詩を利用して、長年の構想を合唱付きという破天荒の形式で表現するに至ったのも、既にそれ以前の作品の内容に音楽による彼の思想が盛り込まれていたものが、「音楽のみでなく、詩の音楽化」という手段での表現を彼に迫ったと理解すべきであろう。彼はシラーの詩をほぼ断片化し、彼の思想に基づき並べ替え、この偉大な交響曲を完成したのだった。その事はハイドンが完成した弦楽四重奏曲の継承発展にも同じ事が言える。

私たちが強く意識しなければならないのは彼の32のピアノソナタの成立の背後にあった市民階級の成長である。古典派の時代は市民階級が次第に台頭し、音楽が貴族階級のみの特権でなくなりつつあった。ベートーヴェンは本来第3交響曲をナポレオンに捧げるつもりであった。ところがナポレオンが皇帝に就任したとの知らせに怒り、ベートーヴェンが曲の表紙に書いて

あったナポレオンの名前を消し、力余って穴をあけてしまったというエピソードは良く知られている。それまでナポレオンは一面では解放者として、実質は侵略者としてヨーロッパ中を荒らしまわっていた。その正体を知った時のベートーヴェンの怒りが、このエピソードとして知られているわけである。話をピアノソナタに戻すとこの時代の市民階級の台頭は、貴族のみならず富裕な市民の家庭でもピアノが普及し始めていた。当時のピアノはまだ現在のピアノのような完成した機能を持っておらず、ピアノフォルテの名で呼ばれている状況であった。市民階級における鍵盤楽器の普及は、この楽器の発展と並行していたのである。ピアノソナタにおいても「悲愴」「月光」「田園」「テンペスト」「ワルトシュタイン」「熱情」などの名称で親しまれているのは、交響曲同様、聴くものに強烈な印象を与えたという理由によると考えていいであろう。ナポレオンが1814年ライプツィヒでの戦いに敗れ、島流しになった年からウィーンでこの戦後処理をどう進めるかをめぐって、オーストリアの宰相メッテルニヒが主導し、ウィーン会議が開かれる。この1815年からメッテルニヒの失脚した1848年迄を、ビーダーマイヤー時代という。この名は小心翼翼たる物語の主人公からとられた。当時勃興しつつあった市民階級はメッテルニヒの弾圧を恐れて、政治に目をつむり、小市民的生活の中に閉じこもっていた。ベートーヴェンの後半生はこの時期と重なる。

そういう時代閉塞の状況の中で「百万の人々よ！」と「第九交響曲」の中で歌い上げたベートーヴェンの共和思想への強烈な思いは驚くべきものだが、同時に彼は先に述べた市民階級の家庭音楽の為にも幾多の作品を残した。それらは彼のピアノ作品の中に多く見られるものであり、例えば4手用の作品、ソナタの中の易しい曲がそうだが、当時ベートーヴェンに師事していた弟子たちは、今でいうプロフェッショナルでない人間でも、ほとんどベートーヴェンのピアノソナタは弾きこなせるほどの技量を持っていた。それほどピアノに堪能であることは貴族の子弟、上流市民階級の女性には欠かせない嗜みであった。それに対して男性はヴァイオリン、チェロが弾けるよう努力した。

そうして家庭音楽が成立したのである。

更にもう1点ベートーヴェンに関してここで触れなかった最も重要な問題がある。それは1802年彼に遺書を書かせるほどの苦悩をもたらした難聴の問題である。彼は18世紀から19世紀への変り目の頃、次第に耳が聞こえなくなりつつあることを自覚していた。1802年というのは彼がそれを友人に初めて打ち明けた年でもあった。音楽家にとってこの最大の危機を乗り越えたからこそ、彼は歴史に残る偉大な音楽家となったともいえる。今回あえてこの問題に触れなかったが、いずれ彼の内面の闘いと人間形成については触れる機会もあるであろう。以上ベートーヴェンを様々な角度から見てきたが、これをまとめるとベートーヴェンの時代は封建制度崩壊期であり、それは他面では後に資本主義の担い手となる市民階級勃興期でもあった事、それが彼をして先進的思想を抱かせ、その思想が彼の音楽の核心を形成したという事である。それを音楽史全般の視点で捉えるなら、ベートーヴェンが古典派の頂点に立ったのもそうした時代的産物でもあったと考えられるであろう。しかし市民階級勃興期は音楽を貴族の手から市民階級の手引き渡したのであり、その役割も亦ベートーヴェンは担っていたと結論づけていいであろう。そのことが彼の後期におけるロマン派的側面の形成に資していたといえよう。これまで「ベートーヴェンの共和思想」と書いてきたが、貴族社会に根を下ろしつつ、共和思想を持っていたベートーヴェンの二面性は、私は「啓蒙君主を頂く共和思想」的なものと規定したい気持ちに駆られる。だが時代の変化と、何よりも偉大であったベートーヴェンの音楽が、彼をして貴族社会に身を置きながら、時代の先を展望させ得たのではなからうか。



野村 三郎

早稲田大学大学院博士課程修了、ウィーン国立音大、ウィーン国立大学留学鹿兒島短期大学教授、東邦音楽大学教授・理事、九州大学客員教授歴任。霧島国際音楽祭創設。第1回音楽の友社賞共同受賞。ショパン全集日本版（バテレスキ版）編集委員・訳、「ウエストミンスター複製版CDシリーズ」資料調査・並びに訳『音楽の友』『音楽芸術』『ムジカノーヴァ』『ショパン』など多くの雑誌、新聞に執筆。著書：『ウィーンフィルハーモニー』（中央公論新社）、『ウィーン三昧』（日本図書館協会選定図書。ショパン社）、『音楽的 なピアノ奏法のヒント』（音楽之友社）、『ウィーン国立歌劇場』（音楽之友社）。共同執筆：『小澤征爾とウィーン』『ウィーンフィルハーモニー&ベルリン・フィルハーモニー』『新編ウィーンの本』（以上音楽之友社）訳書：J・N ダーヴィッド『二声インヴェンションの研究』（音楽之友社）現在ウィーンメロス音楽研究所代表、早稲田大学エクステンションセンター講師。ウィーン在住。

# 豊岡が音楽の都になる1週間

**1 火** **街角コンサート** 豊岡 無料  
会場 / 芸術文化観光専門職大学 (豊岡市山王町 7-52)  
開場 / 13:30 ~ 開演 / 14:00 ~ 14:30

**2 水** **子どもたちのためのコンサート** 無料  
おんぶの祭典の大人気コンサートを、今年は少し短い時間で2回に分けて開催します。大きな声を出しても、泣いても平気。音楽に合わせて歌って体を動かしてみよう。  
会場 / 豊岡市民プラザ・ほっとステージ (豊岡市大手町 4-5 アイティ7 階)  
1回目: 開場 / 9:45 開演 / 10:00 ~ 10:30  
2回目: 開場 / 10:45 開演 / 11:00 ~ 11:30

**3 木** **街角コンサート** 出石 無料  
会場 / いずし古代学習館 (豊岡市出石町袴狭 380-1)  
開場 / 14:45 ~ 開演 / 15:00 ~ 15:30

**3 木** **街角コンサート** 竹野 無料  
会場 / 興長寺 (豊岡市竹野町竹野 297-1)  
開場 / 10:15 ~ 開演 / 10:30 ~ 11:00

**3 木** **街角コンサート** 日高 無料  
会場 / 江原河畔劇場 (豊岡市日高町日置 65-10)  
開場 / 14:45 ~ 開演 / 15:00 ~ 15:30

**4 金** **街角コンサート** 但東 無料  
会場 / 日本・モンゴル民族博物館 (豊岡市但東町中山 711)  
開場 / 10:15 ~ 開演 / 10:30 ~ 11:00

**4 金** **街角コンサート** 豊岡 無料  
会場 / 豊岡市立図書館 (豊岡市京町 5-28)  
開場 / 13:30 ~ 開演 / 14:00 ~ 14:30

**5 土** **街角コンサート** 城崎 無料  
会場 / 木屋町小路 (豊岡市城崎町湯島 391)  
開場 / 10:15 ~ 開演 / 10:30 ~ 11:00

**5 土** **街角コンサート** 豊岡 無料  
会場 / コウノトリ但馬空港 (豊岡市岩井字河谷 1598-34)  
開場 / 10:45 ~ 開演 / 11:00 ~ 11:30

**5 土** **公開リハーサル** 事前予約制 無料  
ファイナルコンサートのおんぶの祭典祝祭管弦楽団を舞台上で聴いてみよう。  
会場 / 市民会館・大ホール  
開演 / 15:30 ~ 1時間程度

**6 日** **グランドフェスティバル**  
会場 / 豊岡市民会館 (豊岡市立野町 20-34)  
2つのコンサートを中心に、1日遊べる音楽のお祭りを開催します。市内の人気店による素敵な飲食ブースもあります。1日中、五感で楽しめる空間で、皆さんをお待ちしています。

**6 日** **キッズコンサート** 開場 / 10:30 ~ 開演 / 11:40 無料  
はじめてホールでクラシックを聞くキッズのための無料コンサートです。おしゃべりは少しの間お休みして、静かに音を聞いてみましょう。いろんな楽器が集まってできる音楽と素敵なお話を楽しんでください。

**6 日** **ヴァイオリン&ピアノ解体ショー** 時間 / 11:45 ~ 12:15 無料  
ヴァイオリン、ピアノの中ってどうなっているの？楽器の仕組みを探ってみよう

**毎日開催** **稽古堂イブニングコンサート** 有料  
1日(火)から5日(土)まで毎日開催します！  
会場 / 豊岡稽古堂・市民ギャラリー (豊岡市中央町 2-4)  
開場 / 17:45 ~ 開演 / 18:00 ~ 18:30  
チケット / 当日 500円、5日間フリーパス 1,000円

**豊岡の吹奏楽部のみんな集まれ!!** **管楽器お悩み相談** 希望者・事前予約制 無料  
1日(火)~5日(土) 場所/豊岡稽古堂 (豊岡市中央町 2-4) 時間/17:00~17:30  
6日(日) 場所/豊岡市民会館 (豊岡市立野町 20-34) 時間/12:30~13:00

**ファイナルコンサート** 開場 / 13:30 ~ 開演 / 14:00 ~ 16:15 有料  
おんぶの祭典期間中に各地で演奏して下さった音楽家のみなさんが集合し、オーケストラを結成！  
前半は、弦楽オーケストラをバックに地元のジュニア・ピアニスト、ヴァイオリニストがソリストを務める楽曲をお楽しみください。  
後半は、2021年のおんぶの祭典を締めくくるにふさわしいベートーヴェンの名曲をお届けします。

**チケット** 一歳保育あり  
大人 2,000円  
高校生以下 500円  
ハート割引 1,000円  
ファイナルコンサートは一時保育あり 5/24締切  
市役所生涯学習課までお申し込みください  
tel.0796-23-0341

\*ハート割引とは、障害者手帳が交付されている方及び介護の方(お一人)対象の割引です。

**イベント出店** 豊岡市民会館(会館棟玄関ホール)で特別出店!

みちかけ 葡萄酒店 | Uchiwa | キバコ

TERME | 58N musubu | ほんのり

\*豊岡市民会館・文化ホールは飲食禁止です。飲食は会館棟の多目的室でお願いします。

**5月30日(日)** **市民音楽家による音楽コンサート** 無料  
会場 / 豊岡稽古堂・市民ギャラリー  
開演 / 13:30 ~ 14:00 開演 / 14:30 ~ 15:00

皆さまへお願い  
・コンサート中に撮影した写真や映像は、おんぶの祭典や豊岡市の広報等で使用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。  
・各コンサート会場の駐車場には数に限りがあります。できるだけ乗り合わせのうえ、お越しいただきますようお願いいたします。  
・スケジュールはやむを得ず変更される場合がございます。最新の情報はホームページをご確認ください。

## チケット取扱い

**ウェブ** Peatix  
https://onpunosaiten.peatix.com/

**電話** 豊岡市生涯学習課  
0796-23-0341  
(平日 9:00 ~ 17:00のみ)

- 窓口**
- 豊岡市役所生涯学習課 および 各振興局窓口
  - 豊岡市民会館
  - 豊岡市民プラザ
  - 城崎国際アートセンター

## おんぶの祭典スポンサー

「おんぶの祭典」は、多くの企業や市民の皆様のご理解とご賛同をいただいています。

プラチナ  
**PLATINUM sponsor**

基礎と環境を調和する

**株式会社 オーク** **大石建設設備株式会社**

**東海パネ工業株式会社** **TOHO SEIKO** (株式会社 東豊精工)

ゴールド  
**GOLD sponsor**

**中田工芸株式会社** **株式会社ビトーアールアンドディー** **但馬信用金庫本店営業部**  
**株式会社ウノフク** **株式会社川嶋建設** **日和山観光株式会社**  
**株式会社西村屋** **株式会社システムリサーチ** **北村内科**  
**大井小枝子** **株式会社但馬銀行**

シルバー  
**SILVER sponsor**

**株式会社由利** **フミオ工業株式会社**  
**株式会社三井住友銀行豊岡支店** **WILLER**  
**兵庫県信用組合** **ALLIANCE 株式会社**  
**株式会社金下工務店** **たじま農業協同組合**  
**株式会社北星社**  
**株式会社谷垣**  
**城崎温泉国際友好クラブ**  
**サンキョー株式会社**  
**SMBC 日興証券株式会社姫路支店**  
**森田教材社・文森堂**  
**大豊機工株式会社**  
**ティ.ケイフーズサービス株式会社**  
**エンドー靴株式会社**

ブロンズ  
**BRONZE sponsor**

**株式会社京都銀行久美浜支店**  
**株式会社山陰合同銀行豊岡支店**  
**有限会社山本屋**  
**有限会社芹**  
**株式会社げんぶ堂**  
**株式会社但馬屋**  
**株式会社絆工房**  
**有限会社つばきの旅館**  
**大同開発工業株式会社**  
**株式会社キヅキ商会**  
**有限会社和平**  
**出石ケーブル株式会社**  
**但馬ティエスケイ株式会社**

サポート  
**SUPPORT sponsor**

**豊岡エネルギー株式会社** **有限会社ヤマサキ商店** **株式会社事務機のサカモト** **株式会社メイワックス兵庫工場**  
**神鋼リゾート開発株式会社** **田中音友堂** **大岡ゴルフ倶楽部** **株式会社白バラドライ**  
**株式会社ビークス** **株式会社ビート楽器** **神織興業株式会社** **株式会社オグラ**  
**川口屋城崎リバーサイドホテル** **川戸自動車工業株式会社** **株式会社マルナカ** **全但バス株式会社**  
**小西 一司** **平野株式会社** **OES アクアフォーコ株式会社** **株式会社ファスト**  
**瀧田 清兵衛** **株式会社古まん** **日本政策金融公庫神戸支店中小企業事業** **株式会社フクダ**  
**三丹ビジネスマシン株式会社** **小幡内科医院** **株式会社フクダ** **株式会社フリエイツ**  
**株式会社常盤** **小田 尚** **しらゆり診療所** **北但自動車株式会社**  
**(一社) 豊岡教育音楽学院** **株式会社三立豊岡支店** **明治安田生命保険豊岡営業所** **匿名 (順不同、敬称略)**  
**大西恵子バレエ教室・但東クラシックバレエ** **株式会社三立豊岡支店** **若宮 正仁**  
**衣川産業株式会社** **日本生命保険相互会社出石営業部** **GOLF STAGE オーバードライブ**  
**株式会社井戸** **日本パワーファスニング株式会社豊岡工場** **株式会社ユラク**